

廣岡 英一 議員

東海地震の被害を少なくするために

Q 問 東海地震は、新潟県中越沖地震の60倍余のエネルギーで、揺れは長く、新潟並みの余震を何発も伴う。現在の被害想定、市の対策に問題はないか。

A 答 現在、各種の災害対応マニュアルを見直し、充実させている。避難所の迅速な開設と円滑な運営を行うことが重要だと考える。

Q 問 新潟県中越沖地震では、原子力発電所も被災した。浜岡原子力発電所に近い袋井市の防災計画は、極めて不備ではないか。

A 答 国の防災指針によると、本市は、浜岡原子力発電所から半径10km以上に位置しているため、屋内退避等を検討するまでの放射線量の到達は想定されていない。国・県の指示に従い対応する。

Q 問 万が一の原発震災に備え、必要な情報を行政課題として広報すべきではないか。

A 答 国や県、中部電力などから情報収集し、原子力災害に関する情報等、必要な事項について、市民への情報提供に努める。



浜岡原子力発電所

永田 勝美 議員

小山地区の土地利用のあり方をどう考えるか

Q 問 セタ豪雨流出土砂処分用地の現状認識と土地利用の考え方はどうか。

A 答 当地は太田川からの流出土砂の緊急的な処分用地として使用され、現状は荒廃農地である。集落地域整備法に基づく農地や宅地の総合整備による土地利用を検討する。

信号機の新設等 交通安全対策はどうか

Q 問 信号機の早期設置に向けて、交差点改良の先行投資が必要ではないか。

A 答 今後、信号機の設置要望に当たり、設置の条件に見合うよう、事前の条件整備を計画的に進めていく。

メロンの農業振興策はどうか

Q 問 「地域団体商標制度」導入後の本市メロンの地域ブランド実力度日本一への戦略はどうか。

A 答 クラウンメロンの評価をさらに高めるために、全国レベルの品評会を開催することは大変有意義。クラウンメロン支所に提案するとともに、関係者の合意が得られれば、支援したい。地域団体商標登録も提案したい。



本市の特産品「マスクメロン」